

金融・資本市場機能の維持発展のために

大和証券では、CSR重要課題の1つである「健全な金融・資本市場を発展させ次の世代につなげる」を大きな使命と考えています。特に主要事業である証券ビジネスは、金融・資本市場を介して、有価証券の発行による資金の調達ニーズと投資家の運用ニーズを結びつけ、円滑なお金の流れをつくり出す、社会・経済の重要なインフラストラクチャーとして機能しています。

決済機能

有価証券の取引において、買い手と売り手の双方と、株券や債券と売買代金の受渡しを行なう証券決済は、当社グループの業務の要の1つです。この決済機能を当然のように正確かつ迅速に遂行することが社会インフラとして金融市場を機能させ、経済の維持発展のためには不可欠であると考え、円滑な業務の遂行態勢構築に努めています。頻繁な取引を行なうコンピューターを利用した売買手法を、さまざまな投資家が活発に利用するなか、大量の決済件数に適切に対応するために、処理能力が高く、信頼のおけるITシステムを整備しています。しかし、システムが進んでも、証券決済業務においてもっとも重要なのは、人財だと考えています。イレギュラー事象が発生した際、スピーディーに状況を把握し的確に対応するには、担当業務の知識のみならず、周辺業務や取引など幅広い知識が求められることから、日々の決済業務を通じて得

た経験やノウハウを可視化・蓄積し、定期的な業務ローテーションを行なうことで一人ひとりのカバー範囲を広げています。

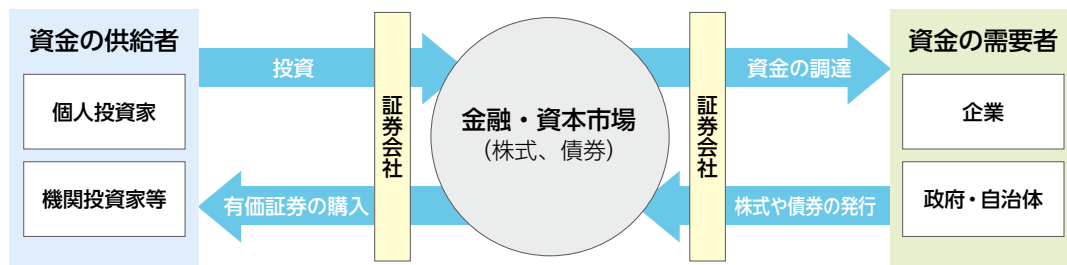
一方で、我が国の金融・資本市場の競争力強化には証券システムの一層の利便性向上とリスク管理強化が必要との認識から、決済期間短縮が業界全体で検討されていますが、大和証券は自主規制機関である日本証券業協会が立ち上げたワーキンググループで中心的な役割を担い、さまざまな課題の整理・検討を進めています。

また、クロスボーダーの外国為替取引では、通貨により異なる決済時間に起因する決済リスク(元本取りはぐれリスク)が懸念されますが、2016年夏、大和証券は国内証券会社として初めて、CLS決済*に決済メンバーとして直接参加します。これにより、外国為替取引の決済リスクが大幅に軽減されます。

自然災害やテロなどの不測の事態に対しては、いかなる状況であろうとも決済業務を継続させる決意のもと、事業継続計画(BCP)を策定し、定期的に訓練を実施し備えています。

「貯蓄から投資へ」の流れが本格化するなかで、決済の信頼性はお客様の信頼を維持するために極めて重要であり、信頼できる決済インフラと人財を支えに、高度化するお客様のニーズにスピーディーにソリューションを提供していきます。

*Continuous Linked Settlement (多通貨同時決済)



決済の処理件数

・毎日
1万数千件

・年間
約300万件
(国内外の機関投資家等によるお取引)